

》精度

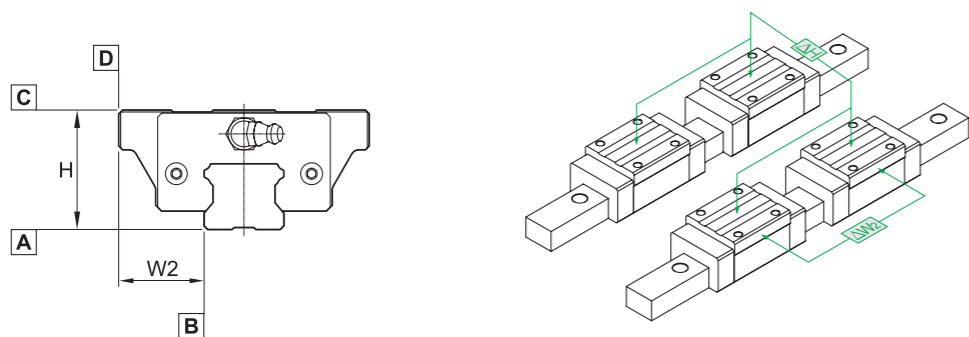
リニアレールシステムの精度は、走り平行度、高さH、幅Wの寸法許容差、1軸に複数個ブロック使用時や同一平面に数軸使用の場合のペア相互差で規定されます。

高さHの寸法差：レール長さの中央位置での、A面からC面までの寸法Hと基準寸法との差。

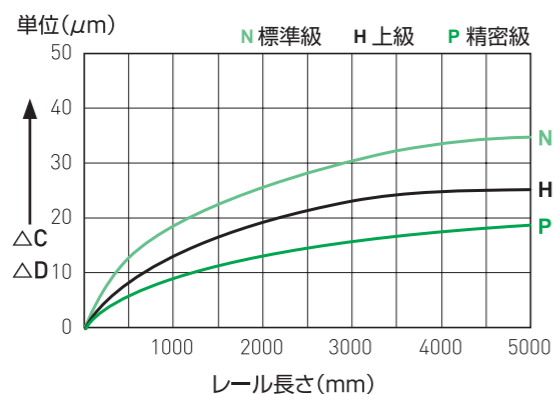
幅W2の寸法差：レール長さの中央位置での、B面からD面までの寸法W2と基準寸法との差。

高さHの相互差：1本レールに使用するブロックの高さHの最大値と最小の差。

幅W2の相互差：1本のレールに使用するブロックの幅W2の最大値と最小値の差。

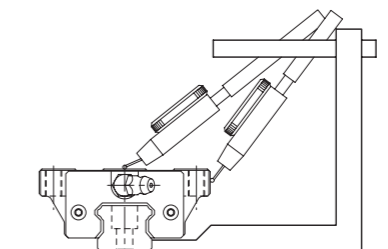


- 幅W2の相互差は、ブロックの側面中央位置で測定
- 高さHの相互差は、ブロックの上面中央位置で測定



走り平行度

レールを基準ベースに固定した状態でブロックをレール全長にわたって、走行させたときのブロックとレールの基準面同士の平行度誤差。



精度規格

単位: mm

項目	精度等級	N (標準級)	H (上級)	P (精密級)
高さHの寸法許容差		±0.1	±0.04	±0.02
幅W2の寸法許容差		±0.1	±0.04	±0.02
高さHのペア相互差		0.03	0.015	0.007
幅W2のペア相互差		0.03	0.015	0.007
A面に対するC面の走り平行度			△C	
B面に対するD面の走り平行度			△D	